

この事業は「(財)  
ひょうご震災記念  
21世紀研究機構」  
と「ひょうご安全の  
日推進県民会議」の  
助成を受けて実施しています。



特定非営利活動法人ええうた工房  
**混声合唱団フロイデンコール**

ひょうご安全の日推進事業

**第3回**  
**震災を忘れないメモリアルコンサート**

**2009年 3月14日(土)**

**午後2時開演**

**西宮市甲東ホール**

## ご あ い さ つ

NPO法人ええうた工房 理事長 笠井明

本日はご来場ありがとうございます。私たちは音楽を通じての社会貢献や文化向上に向けての活動を行っています。阪神・淡路大震災の経験を忘れずに語り継いで行こうという「震災を忘れないメモリアルコンサート（ひょうご安全の日推進事業）」も第3回目を迎えました。1月17日にも尼崎でのイベントでも「千の風になって」などを歌いました。また、昨年中国四川省大地震の後、チャリティーコンサートにも参加して歌にも動員にも協力をしてきました。音楽でできる貢献をもっと行っていきたいと思ひます。

また、昨年は「万人の第九」にも混声合唱団フロイデンコールとして参加しました。年末には自主イベントとして「みんなで歌おう第九パーティー」を開催し100名以上の方と「第九」を楽しみました。今回はその流れの中で、混声合唱団フロイデンコール3回目の「第九」としてプログラムに半ば無理やりに挟み込みました。少し、違和感があるかもしれませんが、合唱団のこだわり（私自身のこだわり？）ですのでご了承ください。

ともあれ、本日は最後までお楽しみください。

### 「兵庫安全の日推進事業」とは

阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れず安全で安心な社会作りを進め、国内外の災害の被害を軽減する為の事業です。（「ひょうご安全の日を定める条例」は2006年4月1日に施行されました）

## Program

### 〈 1 部 〉

#### JOHN RUTTER 作曲

1. For the beauty of the earth
2. All things bright and beautiful
3. The lord bless you and keep you
4. Sing a song of sixpence
5. Magnificat anima mea
6. Gloria patri

..... 休憩15分 .....

### 〈 2 部 〉

#### 源田俊一郎編曲「ふるさとの四季メドレー」より

- |           |         |         |
|-----------|---------|---------|
| 1. 故郷     | 詩・高野辰之  | 曲・岡野貞一  |
| 2. 春の小川   | 詩・高野辰之  | 曲・岡野貞一  |
| 3. 朧月夜    | 詩・高野辰之  | 曲・岡野貞一  |
| 4. 鯉のぼり   |         | 文部省唱歌   |
| 5. 茶摘     |         | 文部省唱歌   |
| 6. 夏は来ぬ   | 詩・佐佐木信綱 | 曲・小山作之助 |
| 7. われは海の子 |         | 文部省唱歌   |
| 8. 村祭     |         | 文部省唱歌   |
| 9. 紅葉     | 詩・高野辰之  | 曲・岡野貞一  |
| 10. 冬景色   |         | 文部省唱歌   |
| 11. 雪     |         | 文部省唱歌   |
| 12. 故郷    | 詩・高野辰之  | 曲・岡野貞一  |

### 〈 3 部 〉

- |                |             |                  |
|----------------|-------------|------------------|
| 1. 愛は花、君はその種   | 日本語詩・高畑 勲   | 曲・Amanda McBroom |
| 2. さとうきび畑      | 詩・曲・寺島尚彦    | 編曲・若松正司          |
| 3. 空も飛べるはず     | 詩・曲・草野正宗    | 編曲・若松正司          |
| 4. 見上げてごらん夜の星を | 詩・永 六輔      | 曲・いずみたく 編曲・若松正司  |
| 5. 第九（抜粋）      | 原詩・Schiller | 曲・Beethoven      |

指揮 大谷圭介。  
ピアノ 宮北昌子  
合唱 混声合唱団フロイデンコール



## 大谷圭介 (Br.)

京都教育大学教育学部数学科卒業。

京都市立芸術大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。

在学中、京都市・西安市友好都市提携25周年記念訪問に音楽交流団に選ばれ、現地にて訪問演奏会を行う。

第39回なわ芸術祭新進音楽家競演会声楽の部において新人賞、ならびに大阪府知事賞受賞。

第7回高槻音楽コンクールにおいて第1位、ならびに高槻市長賞受賞。

第19回摂津音楽祭リトル・カメリア・コンクールにおいて奨励賞ならびにリトル・カメリア賞受賞。

オペラでは、関西二期会本公演、モーツァルト作曲『フィガロの結婚』伯爵でデビューののち、『魔笛』パパゲーノ、『コシ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、ヴェルディ作曲『椿姫』ジェルモン、デュフォー男爵、プリテン作曲『アルバート・ヘリング』ゲッジ牧師、林光作曲『白墨の輪』アツダク、ビゼー作曲『カルメン』ダンカイロ、モラレス、ブッチーニ作曲『ジャンニ・スキッキ』マルコ、プーランク作曲『ティレジアスの乳房』支配人、ブッチーニ作曲『ラ・ボエーム』ショナール、等に出演。2008年1月には、関西二期会の新国立劇場公演R・シュトラウス作曲『ナクソス島のアリアドネ』をハルレキン役として支え、5月にはロッシェニ作曲『セヴィリアの理髪師』フィガロを主演。「芯のしっかりとした演唱」と好評を得た。

宗教曲のバリトン・ソロとしては、フォーレ、デュプレ『レクイエム』、バッハ『クリスマス・オラトリオ』、ベートーベン『第九』『ハ長調ミサ』、ハイドン『聖ニコライ・ミサ』等ノーブルな解釈と歌い口に定評がある。

合唱指導経験も豊富で、アマチュア合唱団はもちろんMBS『一人の第九』をはじめ、その的確で明快な指導力には定評がある。近年では、ヴェルディ作曲『ドン・カルロ』(指揮：D. ヒューゼル)、『ファルスタッフ』(指揮：R. ザルベッロン)、ブッチーニ作曲『トスカ』(指揮：円光寺雅彦)、『ヴェルディ・レクイエム』(指揮：広上淳一) いずれもコーラス・マスターとして公演を支え、共演者からの絶大なる信頼を得、公演を成功に導いた。

又、クラシック普及のため、近畿・中国・四国・中部・東北・九州地方などで親子劇場や小・中・高校生のためのコンサートや、オペラ・合唱のワークショップ等行い、いずれも好評を博している。

大阪センチュリー交響楽団との共演、作曲家平田あゆみプロデュース『うたう劇場』など、活躍の場を増やし、今後の活躍が期待される注目のバリトンである。

声楽を饗場知昭、蔵田裕行、故G. Tadeo、田中勉の各氏に師事。

関西二期会会員。現在、MBS『一人の第九』指導者、島本混声合唱団、男声合唱団Des Eleisons、女声合唱団コーロ・ヴォーチェ指揮者、京都混声合唱団ヴォイス・トレーナー、京都教育大学音楽科非常勤講師。フロイデンコールは2006年から指導にあたっている。



## 宮北 昌子 (ピアノ)

京都市立堀川高校音楽科(現・京都市立音楽高校)を経て京都市立芸術大学音楽学部音楽科ピアノ専攻卒業。ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院マスタークラスに参加、セルジオ・ベルティカローリ教授の講座を修了、修了演奏会に出演。

ピアノ・ソロ、デュオ、声楽・弦・管・打楽器とのアンサンブル、伴奏で多数の演奏会に出演。ピアノを山田淳子、故岩淵洋子、マックス・エッガーの各氏に、チェンバロを春山操氏に師事。京都混声合唱団ピアニスト。

## 《特定非営利活動法人ええうた工房》

2006年5月に認証された特定非営利活動法人(NPO)です。音楽文化全般の普及啓発に関する事業を行い、地域に根ざした市民参加型の音楽文化の発展に寄与することを目的とする法人です。現在は混声合唱団フロイデンコールを中心に演奏にボランティアにと活動しています。正会員と賛助会員を募集していますので、詳しくはホームページをご覧ください。

(<http://www.ne.jp/asahi/freudenchor/amagasaki/>)

## 《混声合唱団フロイデンコール》

NPO法人ええうた工房が主宰する合唱団。条件が合えば何処へでも行く地道な活動をおこなっている。歌いたい人と聴きたい人のコラボレーションを目指している。約1~2ヶ月に一度はイベントなどに参加しています。とにかく歌うことが好きな方で練習にまじめに取り組む方でしたらどなたでも入れます。今後は、「大地讃頌」など合唱の定番曲などを歌う予定です。入団の条件は特にありません、ぜひ一緒に歌いましょう。お待ちしております。

## ジョン・ラター John Rutter (1945~)

イギリスの作曲家、合唱指揮者。1945年9月24日ロンドン(ケンブリッジ)生まれ。父は科学者で、音楽的な家庭ではなかったが、前居者置いて行ったアップライトピアノで、幼少期から音楽に親しんで育った。ハイゲイトスクールで最初の音楽教育を受けた後、ケンブリッジ大学クレアカレッジへ進学して音楽を専攻。その後、サザンプトンで短期間教鞭をとったのち、わずか30才(1975年)でクレアカレッジの学長となり、1979年までその地位を務めたが、1979年に音楽活動へ専心するため同校を離れ、自らケンブリッジシンガーズを結成。同合唱団を率いて数多くの自作を録音している。管弦楽や室内楽の作品もあるが、宗教音楽や合唱曲の作曲家として知られている。

今回は、前3曲が英語による宗教曲。4曲目はマザーグースから。5・6曲目はラテン語の宗教曲「Mgnificat」から2曲抜粋してお送りします。

For the beauty of the earth

For the beauty of the earth
For the beauty of the skyes
For the love wich from our birth
Over and around us lies
Lord of all to thee we raise
This our joy ful hymn of praise
For the beauty of the hour
Of the day and of the night
Hill and vale And tree and flower
Sun and moon and stars of light
Lord of all to thee we raise
This our joy ful hymn of praise
For the joy of human love
Brother, sister, parent, child
Friends on earth
And friends above
For a gentle
Thoughts and mild
Lord of all to thee we raise
This our joy ful hymn of praise
For each perfect gift of thine
To our race so freely given
Graces human and divine
Flow'rs of earth and buds of heav'n
Lord of all to thee we raise
This our joy ful hymn, our joy ful hymn of praise
This our joy ful hymn of praise

All things bright and beautiful.

All things bright and beautiful.
All creatures great and small.
All things wise and wonderful:
The Lord God made them all.
Each little flower that opens,
Each little bird that sings,
He made their glowing colors,
He made their tiny wings.
The purple headed mountains,
The river running by,
The sunset and the morning
That brightens up the sky,
The cold wind in the winter,
The pleasant summer sun,
The ripe fruits in the garden,
He made them every one.
He gave us eyes to see them,
And lips that we might tell
How great is God Almighty,
Who has made all things well.

The Lord Bless You And Keep You

The Lord bless you and keep you;
The Lord make His face to shine upon you
To shine upon you and be gracious
And be gracious unto you
The Lord bless you and keep you
The Lord lift His countenance upon you,
The Lord lift His countenance upon you,
And give you peace, and give you peace;
And give you peace, and
give you peace

Sing a song of sixpence

Sing a song of sixpence, A pocket full of rye;
Four and twenty blackbirds, Baked in a pie
When the pie was opened, The birds began to sing;
Was not that a dainty dish, To set before the king?
The king was in his counting-house, Counting out his money;
The queen was in the parlour, Eating bread and honey.
The maid was in the garden, Hanging out the clothes,
There came a little blackbird, And snapped off her nose.

Magnificat anima mea

Magnificat anima mea Dominum;
et exsultavit spiritus meus in Deo salutari meo.
Quia respexit humilitatem ancillae suae:
ecce enim ex hoc beatam me dicent omnes
generationes.

Gloria Patri

Gloria Patri, et Filio, et Spiritui Sancto.
Sancta Maria, succurre miseris,
iuva pusillanimes, refove flebiles:
ora pro populo, interveni pro clero,
intercede pro devoto femineo sexu:
sentiant omnes tuum iuvamen,
quicumque tuum sanctum implorant auxilium.
Alleluia.
Sicut erat in principio, et nunc, et semper,
et in saecula saeculorum. Amen.

1.故郷

兔追いしかの山
小鮎釣りしかの川
夢は今もめぐりて
忘れがたき故郷

2.春の小川

春の小川は さらさら行くよ
岸のすみれや れんげの花に
すがたやさしく 色うつしく
咲けよ咲けよと ささやきながら

春の小川は さらさら行くよ
蝦(えび)やめだかや 小鮎の群れに
今日も一日 ひなたでおよぎ
遊べ遊べと ささやきながら

3.臘月夜

菜の花曇に 入日薄れ
見わたす山の端(は) 霞ふかし
春風そよふく 空を見れば
夕月かかりて におい淡し
里中の火影も 森の色も
田中の小路を たどる人も
蛙(かわず)のなくねも かねの音も
さながら霞める 臘月夜

4.鯉のぼり

曇(いらか)の波と雲の波
重なる波の中空(なこそら)を
橋かおる朝風に
高く泳ぐや鯉のぼり
開ける広き其の口に
舟をも呑まん様見えて
物たかに振るう尾鰭(おひれ)には
物に動ぜぬ姿あり

5.茶摘

夏も近づく八十八夜
野にも山にも若葉が茂る
あれに見えるは茶摘じやないか
あかねだすきに菅(すげ)の笠
日和(ひより)つづきの今日此頃を
心のどかに摘みつつ歌う
摘めよ摘め摘め摘まねばならぬ
摘まにゃ日本の茶にならぬ

6.夏は来ぬ

うの花のにおう垣根に 時鳥(ほととぎす)
早きなきて 忍音(しのびね)もらす 夏は来ぬ
さみだれのそそぐ山田に 早乙女が
裳裾(もすそ)ぬらして 玉苗(たまな)うる 夏は来ぬ

7.われは海の子

我は海の子白浪の
さわぐいそへの松原に
煙たなびくとまやこそ
我がなつかしき住家(すまか)なれ
生まれしおに浴(ゆ)あみして
浪を子守の歌と聞き
千里寄せく海の気を
吸いてわらべとなりけり

8.村祭

村の鎮守の神様の
今日(けふ)はめでたい御祭日
どんどんひやらら どんひやらら
どんどんひやらら どんひやらら
朝から聞こえる笛太鼓
年も豊年満作で
村は総出の大祭
どんどんひやらら どんひやらら
どんどんひやらら どんひやらら
夜まで賑わう宮の森

9.紅葉

秋の夕日に照る山紅葉
濃いも薄いも数ある中に
松をいりどる楓や薦は
山のふもとに裾模様
溪(たに)の流れに散り浮く紅葉
波にゆられて離れて寄つて
赤や黄色の色様々に
水の上にも織る錦

10.冬景色

さ霧消ゆる湊江の
舟に白し朝の霜
ただ水鳥の声はして
いまだ覚めず岸の家
鳥(からす)啼きて木に高く
人は畑に麦を踏む
げに小春日ののどけしや
かえり咲きの花も見ゆ

11.雪

雪やこんご 霰(あられ)やこんご
降っては降ってははずんずん積る
山も野原も綿帽子(わたぼうし)かぶり
枯木残らず花が咲く
雪やこんご 霰(あられ)やこんご
降っては降ってはまだまだ降りやまぬ
犬は喜び庭駆けまわり
猫は火爐で丸くなる

12.故郷

如何にいます父母
恙(つつが)なしや友がき
雨に風につけても
思いいずる故郷
こころざしをはたして
いつの日にか帰らん
山はあおき故郷
水は清き故郷

愛は花、君はその種

優しさを押し流す
愛 それは川

魂を切り裂く
愛 それはナイフ
とめどない渴きが
愛だというけれど
愛は花 いのちの花
君はその種
くじけるのを恐れて
踊らない君の心
醒めるのを恐れて
チャンス逃す君の夢
奪われるのがいやさに
与えない心
死ぬのを恐れて
生きることができない
長い夜 ただひとり
遠い道 ただひとり
「愛なんて来やしない」
そう思うときには
思い出してごらん 冬
雪に暮れていても
種は春 お陽様の
愛で花ひらく

さとうきび畑

ざわわ ざわわ ざわわ 広い さとうきび畑は
ざわわ ざわわ ざわわ 風が 通りぬけるだけ
今日も 見わたすかきりに 緑の波が うねる
夏の ひざしの中で
ざわわ ざわわ ざわわ 広い さとうきび畑は
ざわわ ざわわ ざわわ 風が 通りぬけるだけ
むかし 海に向こうから いくさが やつてきた
夏の ひざしの中で
ざわわ ざわわ ざわわ 広い さとうきび畑は
ざわわ ざわわ ざわわ 父は 死んでいった
あの日 鉄の雨にうたれ
夏の ひざしの中で
ざわわ ざわわ ざわわ 広い さとうきび畑は
ざわわ ざわわ ざわわ 風が 通りぬけるだけ

空も飛べるはず

幼い微笑を 下げられないまま
神様の影を 恐れて
隠したナイフが 似合わない僕を
おどけた歌で 慰(なぐさ)めた
色あせながら ひび割れながら
輝くすべを求めて
君と出会った奇跡が この胸にあふれてる
きっと今は自由に空も飛べるはず
夢を濡らした涙が 海原(ウナバラ)へ流れたら
ずっと そばで笑っていて欲しい
切り裂いて 見え透いた嘘(ウソ)は
満月の夜に 破(やぶ)いた
はかなく揺れる 髪(かみ)のにおいで
深い眠りから覚めて
君と出会った奇跡が この胸にあふれてる
きっと今は自由に空も飛べるはず
ゴミでくらくらく世界を拒(コバ)んでも
ずっと そばで笑っていて欲しい
君と出会った奇跡が この胸にあふれてる
きっと今は自由に空も飛べるはず
夢を濡らした涙が 海原(ウナバラ)へ流れたら
ずっと そばで笑っていて欲しい

見上げてごらん 夜の星を

見上げてごらん 夜の星を
小さな星の 小さな光が
ささやかな幸せを歌つてる
見上げてごらん 夜の星を
ほくらのように 名もない星が
ささやかな幸せを祈つてる
手をつなごう ぼくと
追いかけよう 夢を
二人なら 苦しくなんかないさ
見上げてごらん 夜の星を
小さな星の 小さな光が
ささやかな幸せを歌つてる
見上げてごらん 夜の星を
ほくらのように 名もない星が
ささやかな幸せを祈つてる

第九

Freude, schöner Gotterfunken,
Tochter aus Elysium
Wir betreten feuertrunken,
Himmliche, dein Heiligum!
Deine Zauber binden wieder,
Was die Mode streng geteilt;
Alle Menschen werden Bruder.

千の風になって

私のお墓の前で 泣かないでください
そこに私はいません 眠ってなんかいません
千の風になって
千の風になって
千の風になって
千の大きな空を
吹きわたっています
秋には光になって 畑にふりそそぐ
冬はダイヤのように きらめく雪になる
朝は鳥になって あなたを目覚めさせる
夜は星になって あなたを見守る
私のお墓の前で 泣かないでください
そこに私はいません 死んでなんかいません
千の風になって
千の風になって
千の大きな空を
吹きわたっています
千の風になって
千の大きな空を
吹きわたっています
千の風になって
千の大きな空を
吹きわたっています

混声合唱団フロイテンコール

練習日 毎週木曜日 午後7時~9時 (塚口南分館など)
合唱指導 大谷圭介先生 (関西二期会正会員)
練習会費 月3000円

